



進路通信

第5号

岩手県立宮古恵風支援学校

進路部

発行 令和8年3月13日

(年間5回発行)

●企業との連携協議会・職場で障がい者を理解する研修会

1月16日(金)に宮古市地域創生センターにて「職場で障がい者を理解する研修会」が行われました。この研修会は、本校と宮古地区チャレンジド就業・生活支援センターが共同で開催しており、障がい者の支援についての共通理解を図ることを目的としています。障がい者雇用に関心のある企業や行政、福祉、教育関係者を対象にし、学習会及び研修会として企画しているものです。

2部構成となっており、第1部では「障がい者雇用における事例紹介」として、株式会社川秀、株式会社中村電子、佐々総業株式会社の代表の方々からお話をいただきました。雇用した企業担当者側と働く当事者側の双方の立場から、貴重な現場の声を聞くことができました。第2部では「事例に基づいたディスカッション」として、3グループに分かれて情報交換と協議を行いました。様々な意見が盛んに交わされ、実りのあるグループワークとなりました。



●高等部 着こなしセミナー

2月4日(水)に洋服の青山宮古店より、店長とファッションアドバイザーの方をお招きし、「着こなしセミナー」を行いました。高等部で毎年実施しており、ビジネスマナーについて理解を深めるとともに、自分の将来に向けての意識を高めることを目的としています。

スーツの着こなし方やネクタイの試着体験、時と場に応じた化粧講座など、社会人として必要なマナーを学ぶことができました。また、実際にモデル役の生徒がビジネススーツを試着したり、化粧をしたりする姿を見て、具体的な社会人のイメージをもつことにつながりました。



●先輩に学ぶ会

2月6日（金）に「先輩に学ぶ会」を行いました。卒業生から、社会人としての生活のあり方や心構え、20歳を迎えた心境などを自身の経験からお話いただくという目的のもとに開催されています。

当日は令和5年度の卒業生から、リモートでの参加も含めて3名をお招きしました。仕事内容、やりがい、休日のリフレッシュの仕方、金銭管理など、様々な質問に実体験を交えながら丁寧に答えていただきました。日頃の作業学習や実習の重要性、学校生活を楽しく過ごす大切さなど、生徒たちにとって進路選択につながる有意義な時間となりました。



●令和8年度第1回進路希望調査について

生徒一人一人の進路希望を把握し、ニーズや適性に応じた進路の実現に役立てるために実施します。希望調査の記入にあたっては、「進路の手引き」を参考にご記入ください。もし、現時点で希望がはっきりしていない、まだ分からないなど不明な点がございましたら、担任または進路部にお問い合わせください。

次年度のPTA総会でも説明する予定です。※保護者進路説明会 4月24日（金）予定

各学部進路状況（予定含む）

【高等部】

<一般就労>

山田町 介護老人福祉施設 リネン業務等
山田町 製造業 総務補助
岩泉町 製造業 成形オペレーター
宮古市 福祉事業 支援員補助

<就労継続支援B型事業所>

宮古アビリティセンター
みやこワーク・ステーション
ワークプラザみやこ
自立生活支援センターウイリー
ジョブ・パートナー山田
いずみの里

<生活介護事業所>

こっこん
望みの園はまなす
センター・うえる花夢 結人

【中学部】本校高等部進学：

3名

【小学部】本校中学部進学：

1名

